

平成29年度第3回高梁市総合教育会議 会議録

1. 招 集 平成30年2月27日 午前10時00分
2. 開 会 平成30年2月27日 午前10時00分
3. 閉 会 平成30年2月27日 午前11時50分
4. 会議の場所 高梁市図書館 4階多目的室
5. 出席、欠席した構成員の氏名

氏 名	出欠の別
近 藤 隆 則	出 席
小 田 幸 伸	出 席
吉 川 昭	出 席
山 内 廣 子	出 席
川 上 は る 江	出 席
和 久 野 慶 子	出 席

6. 会議に出席した者の職氏名

職 名	氏 名	備 考
政 策 監	前 野 洋 行	
健 康 福 祉 部 長	堀 節 夫	
教 育 次 長	宮 本 健 二	
参 与	田 村 啓 介	
総 合 戦 略 課 長	西 本 隆 之	
こ ど も 未 来 課 長	赤 木 憲 章	
教 育 総 務 課 長	大 福 克 志	
高 梁 学 校 給 食 セ ン タ ー 所 長	藤 井 桂 次	
学 校 教 育 課 長	張 谷 孝 文	
社 会 教 育 課 長	渡 辺 丈 夫	
社 会 教 育 課 長 代 理	福 田 茂 樹	
ス ポ ー ツ 振 興 課 長	川 上 啓 二	
文 化 セ ン タ ー 所 長	山 崎 一 広	

教育総務課課長補佐	西川優子	
-----------	------	--

7. 協議題

- (1) 高梁市の学校給食センターの今後について
- (2) 高梁市の一貫教育全体構想図について
- (3) ICT（タブレット、電子黒板）の活用について
- (4) 高梁市図書館の状況について
- (5) 高梁市のスポーツ施設について

8. 議事の概要

- 1 開会
- 2 あいさつ（市長）

30年度予算において、最重点を置いたのは人づくりであることを発表した。保育士の確保対策、幼稚園、小学校の施設をすすめていく。特色のある高校教育をすすめていく。高梁出身であることに誇りを持って言えるような教育をするための予算にしたつもりである。まちづくりは、人づくりであるので、教育委員にも注視しておいていただきたい。

3 協議題

教育総務課長	別紙資料により「(1) 高梁市の学校給食センターの今後について」を説明
市長	施設の老朽化が進んでいることと、行財政改革の中で、公共施設の見直しを行わなければならない状況にある。統廃合にも様々な課題がある。今日この場で結論を出すわけではないので、現在この様な状況にあるということを知っておいていただきたい。
和久野教育委員	3センターから1センターにすることは、口に入ってはならないものが入ってしまうなどの事故や事件のリスクが大きいので、せめて、3センターから2センターとするのがよいのではないか。1センターにすると、市内全員の子供に影響が出る。外部委託すれば、監視し続けなければならない。3センターから2センターとし、市が運営を続けて欲しい。
吉川教育委員	3センターから2センターがよい。エリアが広いので、温かいものを温かく提供できなくなる。高梁は東西に長いので、高梁学校給食センターと有漢学校給食センターの2センターとし、川上は、位置的に高梁が提供すればよいと思う。しかしながら、子供が減ってくるので、行財政改革の観点からも1センターにしなければならない時がくるであろうと思う。民間委託は、信頼できる業者でなければならないので、検討が必要である。
山内教育委員	先の事は先で考えることとし、今現在で考えると、高梁市の運営を続けて欲しい。

川上教育委員	民間委託について、委託してよかったという意見も聞いている。県内どのくらい委託しているのか。3センターから1センターにするなら今という考え方もあると思う。
市長	最初の話であるので、データのものが今はない。行革の観点から話をしているが、食は一番大切な事なので、事務局からの説明の通りとした場合、ランニングコストがどの位になるかもまだ計算できていない。一つに統合した場合、施設の拡張なども必要となるなどの議論もしていないので、まだこれから色々なケースを考えた上で、教育委員会の会議においても諮りながらということになると思う。結論ありきではないので、課題があるということを確認していただければと思う。委託については、現在も米の炊飯を委託している。給食費の問題もあり、今の単価では無理であろう。それも含めてどうするのかということもある。今日は、情報として聞いておいていただきたい。
教育長	小さいセンターが数あり、事故が起きた場合、被害も小さいのがいいのか、大きいセンターで一度に事故が起こった場合は大きいというところはある。栄養士は、民間委託となっても県費であり、衛生管理などは行っていく。委託となっても、完全移管はない。
学校教育課長	別紙資料により「(2) 高梁市の一貫教育全体構想図について」を説明
市長	人づくりをするための基礎となるものである。
吉川教育委員	ユメセンも継続すべき事業であるが、現在11人いる伝えたいしの話を小中学生に聞かせる機会があればよいと思う。高梁出身で活躍する人の生の話や体験を聞かせてやりたい。感動することが、子供達を変えていく。
和久野教育委員	「知・徳・体」のところで、体力づくりの事がないので、あればよいのではないか。高梁市のよさを推進したいなら、農業体験も入れてもらえたらと思う。
川上教育委員	「知・徳・体」のところで、メディアコントロールの結果として、外遊びが増えるような、自分の生活をメディア漬けにせず、主体的に体力をつけるそういう思いを持つ子供の育成という思いも含めながら、体力がないから増やすというのではなく、根本的な部分で増やしていきたいと事務局は考えている。そのように捉えると、メディアコントロールの定着の中に「体」も含まれると広義に捉えることができるのではないかと思う。職場体験については、農業体験も入れるとよいと思う。
市長	いかに外に連れて出るかということになるが、文部科学省のホームページに、3歳までに目に刺激を与えることによって体力に差が出てくるという結果が掲載されている。
教育長	構造図の考え方は、横と縦のラインで高梁では最低これだけの事はきちんと教えていこうという事である。基本中の基本のみで、盛り込み過ぎると柔軟性がなくなる。修正は行っていく。
学校教育課長	別紙資料により「(3) ICT (タブレット、電子黒板) の活用について」を説明

市長	ICTの活用を前に進めることとした。この時代、子供達が色々な事を学ばなければ、大変な時代となってきている。いかに子供がすんなり入っていけるか方法を考えてやりたい。2年間ぐらいで整備することとしているが、できるだけ早く整備をすすめたい。子供、先生の意見を聞きながら環境の整備を行っていきたい。
和久野教育委員	視覚的刺激があり、子供達は、興味関心が高まる。授業についていけない子は、どこを進んでいるのか分からない。慣れてくればよいが、現状では、先生も使いこなすのに、精一杯であるし、生徒もどこの部分かを聞けていない子はいっていない。ICTを活用することで、既成のソフトなどを使えばよいが、自ら教材を作るといことになると、先生方の負担が増えるのではないかと。スピード感はあるが、学力として定着しているのか確認が必要である。
山内教育委員	ゲーム感覚で授業を捉えるようになってはだめである。大切なところは押さえたい。大切な所は押さえ、活用できるところは活用し、全てこれに頼ることはどうかと思う。
吉川教育委員	小規模校にとっては、子供にも、教員にも連携が大事である。何をどこでどのように使ってこのICT授業を行うか期待をするし、活用しなければならないと思う。
川上教育委員	便利なので、小規模校でも活用できればよいと思う。
教育長	紙文化も大事であるし、ICTを利用しなければ生きていけない時代になっているので、両方大事にしながら、言われたように効果的な使い方を見分けるのが教育力となる。高梁で県のICT教育の研修会を実施してもらい、教員に参加してもらおう。合同授業を行うと、学力が上がる。年間20、30時間しかないのに、先生同士の切磋琢磨がよい効果を生んでいる。
市長	色々な意味で効果はあると思う。
社会教育課長	別紙資料により「(4) 高梁市図書館の状況について」を説明
市長	開館から一年間が経過したので、現状を報告させてもらった。貸出数を増やすところが、努力を要する部分であろう。
山内教育委員	利用者アンケートの「どちらともいえない」という意見の理由を聞かせていただき、今後の参考にすればよいと思う。
社会教育課長	小説、文庫、新刊、推理、ファンタジー、伝記、医療関係の専門書を増やして欲しい。ホームページに意見を入れることができるようにして欲しいなどの意見があった。
和久野教育委員	不満の方が多項目はあったのか。
社会教育課長	DVDやCDの数について、館外の返却ポストの数や、図書資料の探しやすさなどへの意見があった。
和久野教育委員	パンは、日用品販売と同じ所で販売しているのか。
社会教育課長代理	同じ所で販売している。本も販売している。
和久野教育委員	売り切れたら、次の場所で売るパンがないので、1カ所ずつ売るパンを分けるなど検討して欲しい。他のパン屋が参入したいというのはないのか。図書福袋の効果がどのくらいあったのか。福袋の中身が、ジャンル分けされていてよかつ

吉川教育委員	たのではないか。駐車場が、イベント参加と借館を考慮して、3時間無料にならないか。一日利用があればよいかなど思っている。
社会教育課長	貸出冊数が、10冊から20冊となるので、貸出冊数が増えるのではないかと期待している。移動図書館ルートで、中学校、高校もルートに入るとよいのではないか。各校に意見を聞いて、研究して欲しい。図書館のイベントはよいと思う。図書館祭りのような地域のボランティアが中心となる手作りのイベントがあればよいと思う。新見では年に1、2回そのようなイベントがある。
教育長	移動図書館の実績や、各学校のニーズ把握からルートの見直しを行っている。4月から移動先が30か所から新たに3か所増えるが、中止する箇所もある。
スポーツ振興課長	全体的な底上げの中で、貸出冊数が上がるということが大切である。
市長	別紙資料により「(5) 高梁市のスポーツ施設について」を説明
川上教育委員	施設を順次更新していく考えもあるし、今後、利用の状況によっては、他の施設と統廃合する可能性も出てくると認識しておいていただきたい。
山内教育委員	大学は喜んでいる。このグラウンドで活性化していったらよい。天理市に体力測定ができたり、トランポリンができたりする公園があった。老若男女問わず利用できる。他の事にも活用でき、便利な場所にある公園であった。
市長	落合のふれあい公園も体力測定のようなことができるようになっている。どれだけ利用されているのかと思う。川上にも設置していただけたらと思う。
教育長	スポーツだけでなく、体力づくりにもなるので、参考にさせていただく。高齢者になると、遠くへ行けない。日常的に運動できる。今のものを活用して、研究し、体力づくりに貢献できる取り組みができることができればと思う。

4 その他

和久野教育委員	大学生のバイクが危ないので、交通安全の啓発ができないか。
市長	申し入れはしている。大学生に限らずというところである。
教育長	会議が形だけにならないよう工夫し、旬な話題を入れ、意見を取り入れることができるようにする。議題の希望があれば聞きたい。視察を含めてできないか。
山内教育委員	今までにも、文化施設も見て回ろうという意見があった。

5 閉会

あいさつ (市長)

教育は、色々な分野が関連すると感じた。委員の意見も反映できればと思っている。